

2024 年度派遣交換留学修了届
HP 上で公開しますので、個人情報記入しないようにしてください。

私は海外協定校に派遣され、この度交換留学を修了しましたので、下記のとおりご報告いたします。

■ 基本情報

留学先国	米国
留学先大学	Snow college
形態	☐ 国立 ☒ 公立 ☐ 私立 ☐ その他
学年歴	2 学期：8 月下旬～12 月中旬
学生数	おそらく約 5000
創立年	1888
留学先での所属学部	ESS
留学時の学年	3 回生
留学開始・終了時期	2024 年 8 月 20 日～ 2024 年 12 月 14 日 (4 カ月)

■ 留学先での生活について

大学がある町やキャンパスの雰囲気はどうでしたか？
静かな町であったが、学生のいるところは活気があった。彼らは非常にフレンドリーでもあり、話し かけやすい雰囲気を醸し出していたように思える。

留学中はどこに住んでいましたか？
a. 大学寮 (☒) : 何人部屋でしたか (2 人) b. アパート (): 何人部屋でしたか (人) c. ホームステイ (): 何人部屋でしたか (人) d. その他 (): 具体的に :
住環境はどうでしたか？
非常に住みよかった。
現地のインターネット環境はどうでしたか？
充分であった。
食事はどうしましたか？
a. 大学・寮のミールプラン (☒) b. 主に外食 () c. 自炊と外食が半々程度 () d. その他 (☒) 具体的に：休日や朝食は自炊で賄った時もある。
留学先で他の留学生や現地学生とどのように交流を深めましたか？
まずは、大学主催のイベントで顔見知りを作った。その後食堂で共に過ごしている中で、芋づる式に、友人の知人を自分の友人にできる機会を得られた。また、決まったメンバーと交友関係を深めた後は、学校の至る所に設置されている卓球台やビリヤード台で遊んだりもした。他には、友人側から自宅などへの招待もあった。
余暇や長期休暇はどのように過ごしましたか？
余暇は友人とたわいもない時間を過ごしたが、長期休暇は旅行に行くことも多かった。学校主催のイベントでラスベガスなどに行く機会もあった。その際は現地でできた友人と共に申し込みをしたこともあった。
健康管理や危機管理で注意したことについて、アドバイスがあれば具体的にお願いします。
睡眠時間や自炊方法には気を配った。その結果、健康を大きく損なったことは無かった。

文化、習慣、宗教の違いなど、生活全般（衣食住）に関するアドバイスがあればお願いします。
モルモン教が深く根付いている土地だが、強引な勧誘というものは彼らの信念に反しているため、滅多にないと聞いた。私自身もモルモン教徒の友人は持っていたにもかかわらず、そういった経験はなかった。
どのような保険に加入しましたか。（ ）に○をつけてください。
a. 留学先大学が指定した保険 （ ☒ ） b. 個人の保険のみ （ ） c. 大学指定の保険と個人保険の両方 （ ）
予防接種は必要でしたか。（ ）に○をつけてください。
a. はい （ ） 具体的に： b. いいえ （ ☒ ）
現地で病院に掛かったことはありましたか？
ない
大学内の医務室・診療所（附属病院など）で医療サービスを受けることは可能でしたか？
可能であった
学内外で問題があった時には誰に相談しましたか？留学先に相談窓口はありましたか？
交換留学を担当する人達に相談ができた
現地での危険情報をどの様に収集し、どのような防犯対策をしましたか？
稀に現地の友人がそういった事を話していた。しかし、田舎であったため、非常に安全な環境であった。

■ 留学先での学習について

留学先で履修した科目・時間・授業内容について教えてください。 詳細は別紙「学習・研究活動レポート」に記載をお願いします	
ESL クラスは祝日を除き、毎日あった。クラスが 4 つに分けられており、それによってクラスの時間、課題も異なっていた。	
授業履修の際に、注意したほうがいいことがあれば、なるべく具体的に教えてください。	
ESL はテストによりクラスを振り分けるため、特筆なし。	
授業に関して、困ったこと、うまくいったこと、努力したことなど、教えてください。	
単語力が足りずに非常に苦しんだ。事前準備で最優先にすべきことだったかもしれない。	

■ 留学前後の外部語学試験の成績・資格試験の実績について

外部語学試験	
〔留学前〕IELTS4.5	〔留学後〕IELTS5.0
資格試験	
〔留学前〕	〔留学後〕

■ 今後の進路等について

卒業時期について教えてください。(わかる範囲で結構です)○をつけてください。
a. (○) 4年で卒業予定 b. () 卒業は延期する予定(延長予定期間：)
就職・進学のための活動について教えてください。(留学中にしたこと、留学後の予定など)
今後の英語学習につながるような学習方法を心掛けた。また、連絡を取れる友人を作れたことも今後に繋がると感じている。

■ 留学全般について

留学を終えての学習成果を教えてください。
英語力は確実に上がったが、著しく能力の低い部分もある。これを伸ばしていけば、英語力もかなり向上すると考える。 また、文化理解も深まり、自立心の向上も相まって、思考が柔軟になったように感じる。
留学して、何が変わったと思いますか。
様々なことを知った。具体例を挙げると、自立心、コミュニケーション能力、バイアスの減少や、違いへの許容である。
留学を考えている人へのメッセージをお願いします。
留学に来た場合、やはり自発的な行動を取れるかどうかが非常に重要な鍵になると思う。せっかくの機会なので、自分のペースでも勇気を出してみるのが良いかもしれない。

■ 学習・研究活動レポート

履修した授業科目名（留学先大学言語）:	履修した授業科目名（日本語）:
ESL	英語
科目設置学部・研究科	ESL
履修期間	8 月下旬—12 月上旬
単位数	なし
本学での単位認定状況	なし
授業形態	講義式
授業時間数	1 週間に 20 コマほど
担当教授	Adriana Hatch、 Gwen Jones、 Jeannie Kleinhans
授業内容	文法 日本で習ったものとほぼ同じ。復習として非常に有用であった。 リーディング 一冊本を読み、最終週にプレゼンテーションを行った。 リスニング 作文 お題に沿って作文する。課題も同じ。 会話 チューターが授業内容を考えてくる。真面目ではあるが。大半は盛り上げられるようなものになっている。課題は無い。
試験・課題など	試験は 5 つほどを 2 回
学習成果（自由記入）	全ての能力の向上を感じる。これらが無ければ、現在現地の友人との英語でやり取りも出来ていなかったかもしれない。

■ 留学費用について

			現地通貨：\$	円換算：= 150 ¥
留学費用項目	現地通貨	日本円（換算）	その他（備考欄）	
授業料	0	0	追手門学院大学の学費は払う	
滞在費	1300 ドル	20 万	スイーツ	
食費	3000 ドル	45 万	食堂のプラン（大半）+ 自炊費	
図書費	なし			
学用品費	なし			
教養娯楽費	1000 ドル	15 万		
被服費	なし			
医療費	なし			
保険費	533 ドル	8 万		
渡航旅費（航空運賃・空港税など）	1466 ドル	22 万		
雑費	30 ドル	4500	食器、ベルト	
その他	600 ドル	9 万	代行手続き代金	
その他	66 ドル	1 万	ホテル代	
その他				
合計	7995 ドル	120 万		

以上
